

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市青年文化センター
2	指定管理者	公益財団法人仙台市市民文化事業団
3	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 令和元年度 264,922人（前年度比 83%） 平成30年度 319,721人 平成29年度 295,336人
		《事業》 施設の管理運営に加え、ホール・諸室の活性化や稼働率の向上及び新たな施設利用の可能性を探ることを目的とし、劇都仙台・ミュージカルプロデュース公演や青少年のためのオーケストラ鑑賞会等の自主事業を行っている。
5	収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 352,937千円 (346,748千円) ・ その他市が負担した費用 20,302千円 (82,809千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 107,433千円 (107,122千円) ・ その他収入 14,536千円 (14,787千円)
6	利用者の声	《実施状況》 ・ 「利用者アンケート」の実施（令和元年12月） ・ 施設利用者に利用案内用紙を配布し満足度を調査・対応（通年） ・ 1階エントランスに設置のご意見箱に寄せられた意見・要望等に対する回答を掲示（通年）

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	施設運営上の基本方針について、職員全体会議等で日頃から職員間で共有しているほか、受付窓口やホームページにより利用者への周知を行っている。その他、休館日の縮減など利用者増加のための取り組みの継続、地域と連携した事業実施による青少年の活動支援、文化活動団体への情報発信支援などを通じて、施設目的の達成に向けて適切に運営している。	27/27
II	施設の運営管理体制	仕様書や事業計画書の内容に沿った適切な人員配置、指定管理料の執行がなされており、概ね良好である。個人情報を取り扱う際に必要な対策を講じているとともに、職員の意識向上を図る取り組みも行っている。職員と各委託業者がそれぞれ施設の点検を行い事故防止に努めており、過去の事故内容等の記録も事務室内で保管・共有されている。また、防災訓練はテロ等外部からの脅威も想定して行うなど、災害等発生時の対応体制が確立されており、適切な運営管理体制が敷かれている。	30/30
III	施設・設備の維持管理	利用者が施設を快適に利用できるよう、定期的な清掃や外構の植栽管理などを通じて衛生管理、美観維持に取り組んでいる。また、日頃から施設・設備の確認を行い、発見された不具合等は迅速に対応している。10月のスプリンクラーポンプ設備工事時に発生した制御盤の故障の際にも、市民利用への影響を最小限に止めた。備品については、設置場所や保存状態等を網羅したデータベースを作成するなど、適切に管理されている。	24/24
IV	サービスの質の向上	「接遇に関する対応マニュアル」が職場内で共有されており、職員のマナー向上のための取り組みが適切になされている。年1回実施している利用者アンケートのほか、意見箱の設置や施設利用者からの状況報告を通じて利用者の意見を伺い、可能なものから迅速に対応している。また、利用促進のための取り組みとして、様々な媒体を活用した情報発信を不断に行っている。	28/28
V	施設固有の基準	使用許可に係る事務や再委託業務の手続き等について、協定書や仕様書に基づき適切に行われている。また、施設の休館日を活用して修繕を実施するなど、利用者の利便性向上を図る取り組みを継続して行っている。施設の設置目的達成に寄与する工夫された事業を複数企画・実施している。施設全館を利用した大規模イベントや、市内唯一のクラシック専用ホールを活用したイベントの開催を通じて、青少年の文化活動及び交流の場を提供した。また、幅広い世代の市民が年間を通じて継続的に参画する事業の実施等、施設の活性化を図る取り組みが効果的に行われている。	33/31

### 三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市民文化事業団）による自己評価》
<p>施設運営上の基本方針は職員会議等により共有し仙台市と協議を重ね、個人情報保護や情報セキュリティポリシー等を遵守のうえ協定書等に基づき適切な管理運営業務に努め重大事故ゼロを継続した。</p> <p>接遇マニュアルによる職員各自の点検、利用者の生のご意見・情報収集により要望や要改善点等への迅速な対応や、施設ホームページやSNSにより情報を発信し施設のブランドイメージを高めサービスの質や利便性の向上に努め、コロナ禍の影響をうけながらも高い利用実績と利用者アンケート結果における高い評価が継続して得られた。</p> <p>備品管理では、改修工事に伴う移転保管を控え、より効率的・効果的な管理方法を目指す取組みを継続的に行っている。</p> <p>施設維持管理では、経年劣化した設備での発煙事故を受け職員対象の防火管理研修や勉強会の実施等により、危機管理の意識を高め再発防止に努め、館内全職員での連携による総力をあげた対応で利用者への影響を最小限に抑えることに努めた。</p> <p>令和2年度からの大規模改修工事に向け所管課と連携し積極的に関与し、より円滑な準備業務に貢献した。改修後の変更点について、広報等の充実により利用者への情報発信が必要と考えている。</p> <p>事業では、館の多様な特長を活かし各種展開した。仙台国際音楽コンクールや仙台クラシックフェスティバルでの、オンライン端末によるチケット販売や当日運営。体験型のこども向けイベントでの、コンテンツ制作から当日までの全体運営。館の魅力的な場の活用事業として、民間企業と協働したワークショップと展示を実施。文化情報にふれる機会や出会いを創る事業では、当財団所蔵の書籍文庫を設置し劇場法にうたわれているひろばとしての館の機能を高めた。文化庁補助金事業では、選りすぐりの名曲コンサートと青少年対象のオーケストラ鑑賞会を継続実施した。地域連携では旭ヶ丘地区において良好な関係を育み、協働事業開催など成果を挙げている。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の運営管理体制について、協定書や仕様書等に基づき適切に業務が行われているほか、職員全体会議や訓練等による職員間の情報共有及び啓発に努めており、事故や災害を含めた様々な事象に対応できる体制が構築されている。また、施設の維持管理について、利用者が施設を快適かつ安心・安全に利用できるよう、衛生管理、美観維持が徹底されているとともに、施設内の不具合対応などが迅速かつ適正に対応されている。</p> <p>サービスの質を向上させる取組みとして、接遇に関するマニュアルが職員間で共有され、適切に活かされている。また、利用促進の取組みとして、様々な媒体を使った利用者へのアピール・情報提供を適時行っている。施設利用者アンケートにおける「総合的な満足度」の項目で「とても満足」「満足」の回答の合計が全体の84.3%に上る点は評価したい。</p> <p>事業企画や運営においては、施設の特性を最大限に活用した大規模な自主事業の実施や、「楽都」を代表する音楽イベントである仙台国際音楽コンクール、仙台クラシックフェスティバルなどの運営支援、及び、「楽都」のシンボルである仙台フィルハーモニー管弦楽団をはじめとした音楽団体の運営支援など、施設の魅力を存分に活用し、本市の文化振興に大いに貢献したと認められる。特に、青少年向けの大規模イベントを通じて、当該施設の「青年の文化活動及び交流の場を提供し、もって市民の文化及び教養の向上に資するため」という設置目的を体現していることは、特筆すべき点である。</p> <p>以上より、令和元年度における当該指定管理者の青年文化センター管理運営業務については、概ね良好であったものと評価する。</p>	S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部文化振興課